

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 7 月 10 日

評価対象事業	都政	-	11	住居表示事業					☐ 法定受託事務
所管課	都市政策部 市街地課				評価者	市街地課長 安齊 康広			
一般	会計	款	10	項	15	目	10		
総合計画上の位置付け	分野名	市街地整備			施策の方針名	市街地整備の推進			

1 事業の目的

対象	市民等	意図	住居表示に関する法律等に基づき、住居表示の推進を図るとともに、住居表示実施済地区内における新築建築物に住居番号を付定し、住民の利便性の向上に資するため。
効果	住居表示の実施により、建物の場所がわかりやすくなる。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	住居番号の付定、街区表示板の更新、市境界の確定	住居番号の付定、街区表示板の更新、市境界の確定	住居番号の付定、街区表示板の更新、市境界の確定
予算額（千円）	1,593	2,003	
国県支出金			
地方債			
その他	73	121	
一般財源	1,520	1,882	0
当初人員配置数	1.6	1.3	0.0
人件費（千円）	13,659	9,272	0
事業実績	住居番号の付定、街区表示板の更新、市境界の確定		
決算額（千円）	1,321		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	1,321	0	0
人員配置実績数	1.6	0.0	0.0
人件費（千円）	13,253	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名	住居番号の付定件数	件	437	⇒	463		
活1	実績につながる活動	住居番号の付定を行った				352		
活2	指標名	街区表示板の更新が必要な件数の把握数	件	137	⇒	298		
	実績につながる活動	街区表示板の更新が必要な件数を把握した。				1,241		
活3	指標名	市境界の確定件数	件	1	⇒	1		
	実績につながる活動	市境界を確定した。				0		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・ 届出、申請の件数 ・ 街区表示板については、実績に影響を与えた外部要因はなし
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・ 届出された新築の建物に対し、住居番号の付定を行うことができている。 ・ 老朽化した街区表示板を毎年区域ごとに一定数順次更新ができている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No (最大3つ)
成1	住居表示街区表示板の更新枚数（R7～R12の累計）	枚	137	1,800	298			2

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・ 実績に影響を与えた外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・ 毎年区域ごとに一定数の更新はできている。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・ 街区表示板を更新することで、街区を分かりやすく表示することに寄与した。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☒ 十分に出ている	☐ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ⑤ 予算規模は現状維持とする ☐ ⑥ 予算規模は拡大する ☐ ⑦ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
総評	- 法令に基づき適切に住居番号の付定等の事務を行っていく。 - 老朽化した街区表示板を計画的に更新していく。 - 申請に基づき、市境界を確定していく。			上位施策への寄与度
				B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	市ごとに面積や地形が異なるため、比較不可。								